2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	運動器機能再建再生学研究	三谷 茂

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）コンピューターを用いて，脊椎・骨盤・股関節・膝関節の三次元的な骨の形態計測ができることを目指す。
（2）下肢変形性関節症患者における脊椎と下肢関節との関係について，人工関節手術の影響を明らかとする。
（3）脊椎に関する病態生理を理解する。

授業到達目標

（1）研究デザイン形式を決定できる。
（2）股関節と脊椎との関係について検討することができる。
（3）膝関節と脊椎との関係について検討することができる。
（4）人工関節手術前後での変化について検討することができる。
（5）人工関節手術の影響を明らかとすることができる。
（6）脊椎の発生機序を説明できる。
（7）椎間板の加齢機序を説明できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	18:00 - 18:30	三谷　茂	下肢変形性関節症による姿勢変化や脊椎への一般的な影響について
毎週	火	10:00 - 11:00	古市 州郎	（1）人工膝関節置換術の構造と手技について （2）膝関節手術後の姿勢変化や脊椎についての影響について
毎週	木	9:00 - 10:00	河本 豊広	（1）人工股関節置換術の構造と手技について （2）股関節手術後の姿勢変化や脊椎についての影響について
毎週	金	12:00 - 13:00	難波 良文	（1）人工膝関節置換術の構造と手技について （2）膝関節手術後の姿勢変化や脊椎についての影響について
毎週	金	16:00 - 17:00	遠藤 裕介	（1）人工股関節置換術の構造と手技について （2）股関節手術後の姿勢変化や脊椎についての影響について
月１回	水	16:00 - 17:00	中西 一夫	（1）椎間板の生理，加齢変化について （2）腰椎椎間板ヘルニアにおける新規治療法の発展性について
月１回	水	18:00 - 19:00	大成 和寛	骨粗鬆症について

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

週１回の研究進捗報告に対し，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9780443117633, Campbell's operative orthopaedics<4 volume set>(15th Edition), Edited by Frederick M. Azar, MD, Jeffrey R. Sawyer and Thomas W. Throckmorton, Elsevier, 2026
ISBN-9780443120428, Rothman-Simeone and Herkowitz, the spine <2-Volume Set>(8th Edition), Jeffrey S. Fischgrund, MD and Christopher M. Bono, MD, Elsevier, 2025

参考書

ISBN-9784260049368, 標準整形外科学(第 15 版), 田中栄, 高木理彰, 松田秀一編集 ; 井樋栄二 [ほか] 執筆, 医学書院, 2023
必要に応じて別途指定する。

準備学習（予習・復習等）

毎週履修手帳に実験計画・実施内容を簡潔に記載し、研究の進捗具合について報告すること。
なお、1 時間程度を費やすことが望ましい。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）整形外科学の深い学識を獲得する。
（2）日本国民のみならず、全世界の人々からも信頼される医療を提供できる整形外科医育成を目的に活動する。

注意事項・メッセージ

形態学のみならず、運動学を考慮に入れた機能解剖学を学修すること。